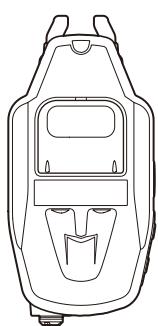


特定小電力ヘルメット用トランシーバー

DJ-PHM10

取扱説明書



本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

本機をご使用になるときは主電源を入れてください。
背面の防水キャップを取り外し、10極スイッチ10番をON側に倒します。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

AJレインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋プロザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34 エコビル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間／10:00～17:00 月曜～金曜(祝祭日及び 12:00～13:00 は除きます)

ホームページ [http://www.alinco.co.jp/「電子事業」](http://www.alinco.co.jp/) をご覧ください。

使用前のご注意

■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光が当たるところ、粉塵が多い場所は避けてご使用ください。

■ 分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更是法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ ご使用禁止場所

本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。

(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺)

本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

■ 通信距離

通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。

- 河原など障害物がない平地、見通しのよい道：200m程度
- 市街地や住宅街など障害物が多い所：50～100m程度
- 店舗などの建屋内：30～50m程度

注意 建屋内の縦階層間の通話はフロアが障害物になるため、直線では十数メートルの近距離であっても通話できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリートすることができます。

人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通話距離は半分程度まで短くなることがあります。

トンネルのような閉鎖的空間では UHF 電波伝播の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■ 第三者による傍受

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勤めできません。

■ グループトーク機能について

従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、受信音声が途切れることがあります。このような場合は違うグループ番号に設定変更して通話を試してください。

■ パッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとパッテリーセーブは解除されます。パッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

安全上のご注意

本製品を正しく安全にお使い頂き、あなたや他人への危害や財産への損失を未然に防止するために必ずお読みください。誤った使い方で生じる内容を図記号と共に説明しています。その表示と意味は次のようにになっています。

表示	表示の意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをする人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをする人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

表示	表示の意味
	しなければならないことを告げるものです。
	してはいけないことを告げるものです。

天災や人災、不測の故障などで生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

■ 警告

■ 使用環境・条件

本製品を使用できるのは、日本国内のみです。
国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

本製品は人命救助などの目的で使用して、万一、故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあつても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

本製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障、誤動作、不具合の原因となります。

本製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作、不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリーを接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用するときは車を安全な場所に止めながら使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線機の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障、誤動作する原因となります。

本製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作、不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

無線機を使用したことによって、いかなる誤動作、不具合が生じても、当社は一切その責任を負いませんのでご了承ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

無線機を使用したことによって、いかなる誤動作、不具合が生じても、当社は一切その責任を負いませんのでご了承ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイクを取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイクや指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイ克を取り付けなくてご使用いただけます。

同時通話では必ず付属のフレキシブルマイ克や指定のオプションマイク製品をご使用ください。

本機はマイクが内蔵されているため、交互通話と中継通話ではフレキシブルマイ克

充電スタンド（オプション）

別売オプションの充電スタンドを使用して充電する方法を説明します。

●充電スタンド：EDC-299R（連結ケーブル付属、最大5台連結）

●連結用ACアダプター：EDC-287

シングル充電

トランシーバー（本機）に付属している充電ケーブルとACアダプターを使用します。

- ① 充電ケーブルの丸プラグを充電スタンド EDC-299R の背面にある電源端子へ接続します。

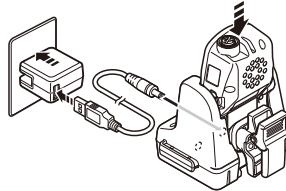
- ② 充電ケーブルのUSBプラグをACアダプターへ接続します。

- ③ ACアダプターをAC100Vコンセントへ接続します。

- ④ トランシーバーを充電スタンドのポケットへ挿入します。

充電が開始すると赤ランプが点灯します。

- ⑤ 充電が完了すると緑ランプが点灯します。



連続充電

充電スタンド EDC-299R を連結して、最大で5台のトランシーバーを同時に充電することができます。

- ① 充電スタンドどうしを連結します。

- ② 充電スタンドに付属している連結ケーブルを、充電スタンド背面の電源端子へ接続します。

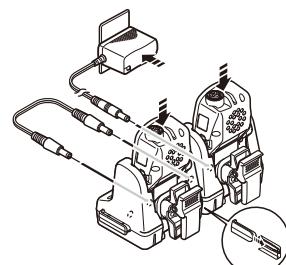
- ③ 連結用ACアダプター EDC-287 のプラグを、端の充電スタンド背面の電源端子へ接続します。

- ④ ACアダプターをAC100Vコンセントへ接続します。

- ⑤ トランシーバーをいずれかの充電スタンドのポケットへ挿入します。

充電が開始すると赤ランプが点灯します。

- ⑥ 充電が完了すると緑ランプが点灯します。



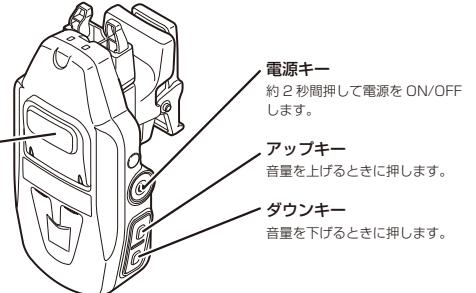
（メモ）2台連結まではトランシーバー（本機）に付属している充電ケーブルとACアダプターをご使用頂けます。

（注意）3～5台を連結する際は、必ず別売オプションの連結用ACアダプターEDC-287をご使用ください。

（メモ）空のリチウムイオンバッテリーを満充電するのに要する時間は約3時間です。充電は周囲温度が0～+40℃の室内でおこなってください。充電するときはトランシーバーの電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると満充電にならないことがあります。トランシーバーおよび充電スタンドの充電端子はときどき点検し汚れを取り除いてください。汚れないと接触不良により正常に充電できないことがあります。

各部の名前とはたらき

前面



電源キー
約2秒間押して電源をON/OFFします。

アップキー
音量を上げるときに押します。

ダウンキー
音量を下げるときに押します。

設定スイッチ
防水キャップを取り外し、設定スイッチを操作してください。スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。設定完了後は防水のため防水キャップを元どおりに取り付けてください。

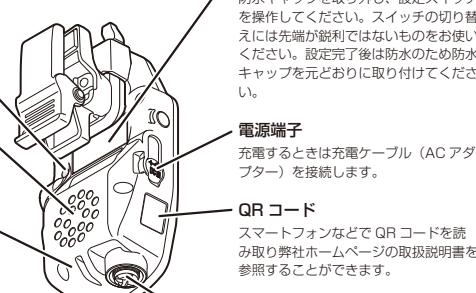
スピーカー
受信音が鳴ります。耳もとに来るよう取り付け位置を調整してください。

電源端子
充電するときは充電ケーブル（ACアダプター）を接続します。

QRコード
スマートフォンなどでQRコードを読み取り弊社ホームページの取扱説明書を参照することができます。

マイク／イヤホン端子
防水キャップを取り外し付属のフレキシブルマイクを接続します。オプションのマイクやイヤホン製品を接続することもできます。取り外した防水キャップは紛失しないよう保管してください。

背面



表示ランプ
動作状態を表示します。

スピーカー
受信音が鳴ります。耳もとに来るよう取り付け位置を調整してください。

電源端子
充電するときは充電ケーブル（ACアダプター）を接続します。

QRコード
スマートフォンなどでQRコードを読み取り弊社ホームページの取扱説明書を参照することができます。

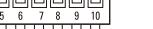
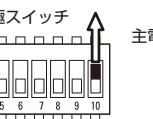
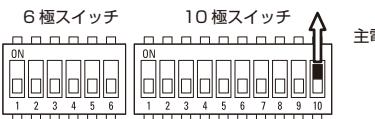
マイク／イヤホン端子
防水キャップを取り外し付属のフレキシブルマイクを接続します。オプションのマイクやイヤホン製品を接続することもできます。取り外した防水キャップは紛失しないよう保管してください。

設定スイッチ

主電源

出荷時は、すべてのスイッチはOFF側に設定されています。

ご使用になる際は主電源を入れてください。10極スイッチ10番をON側に倒します。



機能説明

6極スイッチ	初期値
1番 クルーカー	OFF
2番 互通話／中継通話	互通話
3番 同時通話	OFF
4番 ショックセンサー	OFF
5番 温度センサー	OFF
6番 PTTホールド（送信保持）	ON
10極スイッチ	初期値
1番 VOX（音声検出送信）	OFF
2番 ピープ音、音声ガイダンス	ON
3番 コンパンダー（雑音低減）	OFF
4番 音声ループ	OFF
5番 スタートピー、エンドピー※1	ON
6番 送信出力	AUTO
7番 コールバック	OFF
8番 オプション選択	下表参照
10番 主電源	OFF

（メモ）※1 スタートピーとはPTT（送信）キーを押し送信開始時に「ビビ」音を発する機能です。エンドピーとは送信が終了したことを「ピッ」という音で相手にお知らせする機能です。これらの音は送信側から発せられるため、機能のON／OFF選択をする際は送信側機器を選定してください。

本書に記載していない機能の説明は弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/division/electron/index.html>
スマートフォンなどで本機側面のQRコードを読み取り、弊社ホームページにある取扱説明書を参照することができます。

（オプション選択）ご使用になるマイク／イヤホン製品に応じて10極スイッチ8番、9番を設定してください。設定により適切なマイク、音声出力先、PTT（送信）キーが選択されます。

オプション	10極スイッチ	マイク	音声出力先	PTT（送信）キー
フレキシブルマイク（付属）	OFF	外部	本体	本体
イヤホン（オプション）	ON	OFF	本体	外部
咽喉マイク（オプション）	OFF	ON	外部	本体
イヤホンマイク（オプション）	ON	ON	外部	外部
不使用	ON/OFF 不問	本体	本体	本体

「本体」とは本機に内蔵されたマイクやスピーカーが作動することを示しています。「外部」とはマイク／イヤホン端子へ接続したオプション製品が作動することを示しています。オプション製品に対するスイッチの設定が誤っていると、誤動作することがありますのでご注意ください。

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。
本機は起動時にチャンネルなどの設定内容を音声ガイダンスでお知らせします。

主電源を入れる

防水キャップを取り外し、10極スイッチ10番をON側に倒します。

電源を入れる

電源キーを約2秒間押して電源を入れます。ランプが青色に点灯します。
電源を切るときも電源キーを約2秒間押します。

音量を調整する

アップキー、ダウンキーを押します。キーを押すと「ピッ」という音が鳴るので適切な音量に調整してください。キーを押し続けると連続して音量が変化します。アップキーとダウンキーを同時に押すと「ザ」というノイズが聞こえ音量調整の目安となります。

（注意）イヤホンをご使用になる際や本機を耳もとに近づける前に、あらかじめ音量を下げ、小さい音から徐々に上げて調整してください。音量を大きく過ぎると聴力障害の原因となる恐れがあります。

イヤホン断線検知機能

オプションのイヤホンやイヤホンマイク製品を使用し、10極スイッチ8番をONに設定したとき、音声出力先は外部機器が選択され、イヤホン断線検知機能が働きます。電源を入れた直後に「イヤホンが断線しています」と鳴り、ランプが赤色と緑色に交互点滅したらイヤホンが断線しています。新しいものにお取り替えください。

受信する

信号を受信するとランプが緑色に点灯し、スピーカーやイヤホンから受信音が鳴ります。

（メモ）本機にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されており受信終了時の「ザ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

送信する

PTT（送信）キーを押すと送信を開始します（PTTホールドON設定）。ランプが赤色に点灯します。マイクに向かってお話し下さい。もう一度押すと受信待ち受けに戻ります。6極スイッチ6番の設定により押している間だけ送信することもできます（PTTホールドOFF設定）。

（注意）一定の強さ以上の信号を受信している間はキャリアセンスが働き、警告音が「ブブ」と鳴り送信できません。ビープ音をOFFに設定していると警告音は鳴りません。

コールトーン機能

互通話と中継通話では送信中にアップキーまたはダウンキーを押すと呼び出し音が送出されます。

ビープをOFFに設定しているときは、呼び出し音は送出されません。

同時通話ではこれらのキーが音量調整に限定されるため、コールトーン機能は働きません。

チャンネル設定

アップキーを押しながら電源を入れます。「チャンネルを選択してください」と鳴ります。アップキーまたはダウンキーを押してチャンネルを選択してください。選択したチャンネル番号が鳴ります。

互通話／中継通話

互通話または中継通話でご使用になる際は6極スイッチ2番を設定します。

同時通話

同時通話でご使用になる際は6極スイッチ3番をON側へ倒します。

このとき6極スイッチ2番は必ずOFF側へ倒してください。

6極スイッチ	設定	通話モード／使用チャンネル
1番	OFF	互通話 L1～L9、B1～B11 (20チャンネル)
2番	ON	中継通話 L10～L18、B12～B29 (27チャンネル)
3番	OFF	6極スイッチ2番の設定に従う。
4番	ON	同時通話 L10～L18、B12～B29 (27チャンネル) 注意：6極スイッチ2番は必ずOFF側へ倒してください。

B12～B29チャンネルに設定すると送信出力が自動的に1mWになり、3分制限のない連続通話をおこなうことができます。

弊社製の同時通話トランシーバーと組み合わせて通話するときは、それらの機器の送信方式を「強制モード」や「PTTタイプ」に設定してください。

（メモ）リセット（初期化）したときは、それぞれの通話モードの先頭チャンネルになります。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。

同じグループのトランシーバーは、同じグループ番号に設定してください。

グループ番号は50通りの中からひとつを選択します。

6極スイッチ1番をON側に倒します。

ダウンキーを押しながら電源を入れます。「グループを選択してください」と鳴ります。

アップキーまたはダウンキーを押してグループ番号を選択してください。選択したグループ番号が鳴ります。

（メモ）6極スイッチ1番をON側に倒してください。

（メモ）グループ番号を選択してください。

（メモ）6極スイッチ1番をON側に倒してください。

（メモ）6極スイッチ1番をON側に倒してください。

チャンネルとグループ番号の自動設定

ACSH「アクシ」モード（Auto Connect Shake Hands）について説明します。